

予算審査特別委員会

第81号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第85号議案・平成26年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)については、定例会2日目(12月9日)の本会議において質疑が行われた後、正副議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・制野敬一、副委員長・大町栄信)は、12月10日に審査した結果、第81号議案から第85号議案については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

◎平成26年度白石市一般会計補正予算(第6号)

総務費

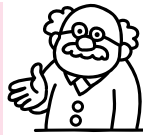
〔質疑〕白石市定住促進奨励金の申請状況を伺う。

〔答弁〕平成26年11月末現在で申請件数が45件(市内転居が31件、市外からの転入が14件)である。市外からの転入により増えた世帯は14世帯、人数で34人である。

〔質疑〕定住促進に手厚く補助額・奨励金を出している市町村もある。さらに定住促進に力を入れる必要があると考

えるが、奨励金の増額については検討されているのか。

〔答弁〕今後、定住促進を進めるためにも、奨励金の増額も視野に入れ検討していく。



定住促進奨励金制度とは定住を目的として土地・建物を取得した転入者や市内在住者に対し、取得費用の一部を助成する制度です。土地・建物の取得費の2%(上限あり)が助成されます。

(上限・転入者は30万円、市内転居は10万円)

〔質疑〕沖ノ沢郡山線街路樹植栽事業について、土壤改良はなぜ必要なのか。

〔答弁〕今回植栽する場所は、赤土風の粘りのある土壤である。そのため、水はけが悪く、植える部分を少し深く掘り、土壤改良の肥料を混ぜて土を入れ、ハナミズキを植えたいと考えている。

商工費

〔質疑〕白石蔵王駅構内の観光案内板の他言語による表記について、日本語と英語の他にどのような言語を考えているのか。

〔答弁〕東南アジアからの

外国人観光客の数が、増加傾向にある。白石城への来客数のうち、台湾とタイが非常に多い。そのことを考慮して表記する言語を決めたい。

〔質疑〕2015年に第3回国連防災世界会議が仙台で、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、東北に来る外国人観光客も増えると予想される。今後、市内の観光案内板も含め、他言語の表示が必要になると考えるがどうか。

〔答弁〕国際化を見据えた場合、観光案内板も整備していかねければならないが、Wi-FiやSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サー



改修となる観光案内板

ビス)の活用も含め、今後検討していく。

土木費

〔質疑〕市営住宅7棟分の定期検査の内容について伺う。

〔答弁〕建築基準法により3階以上の建物、床面積1千㎡以上が該当する。検査内容は、外壁や基礎の劣化状況の調査、建物の傾きなどを専門業者が調査し、県に報告書を提出する。

教育費

〔質疑〕電子黒板とタブレット端末の増設について、電子黒板などを利用した授業はわかりやすいと感じるが、指導する先生のスキルが非常に重要になってくる。その授業の準備について、教員側の体制は現在どうなっているのか。

〔答弁〕電子黒板の活用は増えているが、それを使う教員のスキルがまだまだ足りない。校内での研修を行い、少しでもスキルアップを図っていきたいと考えている。